

該当学年	授 業 科 目 名	担 当 教 員	
1 年 1 部 2 年	幼児と音楽表現 I	奥村たまき、小松洋子、堀内瑞枝 渡部孝太郎、樺沢宏美、横井竜陽	
サブタイトル	ピアノ演奏技術、音楽表現の基礎	単 位 数	4
授業形態	演習	1 年次・2 年次	合計で 4 単位
開講時期	2 年通年	出席要件	4 / 5 以上
到 達 目 標			
① 保育者に求められるピアノの演奏技術、音楽表現の基礎を習得する。 ② 季節を感じられる子どもの歌を通して、言葉やメロディ、リズム、ハーモニーから曲調を捉え感性豊かに表現することができる。 ③ 読譜に必要な音楽理論を学習し、子どもの音楽表現活動に関わる教材等を適切に活用できる。 ④ 伴奏の基本となる「主要 3 和音」を理解し、伴奏を自由にアレンジできる。 ⑤ 表現する楽しさを実感し、幼児に伝える表現豊かなピアノ演奏ができる。 ⑥ 他者の表現を受け止め共感し、自ら学修した演奏法や音楽感覚を再確認し、より豊かな表現につなげていくことができる。			
ディプロマ・ポリシー（専門士授与の方針）との関連			
本科目は、特に「②専門職に関する知識・技能及び表現力を身につけている。」ことを目指す科目である。基礎的なピアノ演奏技術を習得し、保育現場における子どもたちの音楽表現活動を支えることができる実践的な技能や音楽的感性を高めることを目指す。 また、授業の中で共に歌い、弾き、聴き、教え合う学習を通して「③豊かな人間性を身につけている。」ことも目指す。			
授 業 の 方 法			
① 1 クラスを 7 名前後の小グループに分け、それぞれ個人レッスンしながらグループで学習する。 ② 事前に練習してきた課題曲や子どもの歌、伴奏付けのレッスンを受ける。 ③ 他の学生のレッスンを聴講して参考になる事をレッスン・ノートに書き留める。 ④ 授業でアドバイスされたことを、楽譜もしくはレッスン・ノートに必ず書きとめ、次の授業に活かす。また、次週の練習計画もレッスン・ノートに立てる。			
テキスト・教材・参考図書			
テキスト：『バイエル』 音楽 I 研究室編 聖徳大学出版会 2017 年 『子どもと歌おう！〈新版〉幼児とともに』音楽 I 研究室編 聖徳大学出版部 2011 年 『子どもと遊ぼう！ピアノ・レパートリー』音楽 I 研究室編 聖徳大学出版部 2011 年 教 材：「伴奏付け」課題 「初見視奏」課題			
評 価 の 要 点			総合評価割合
1. 曲に必要とされる演奏表現ができているか否か。 2. ピアノ・レパートリー、幼児とともに、伴奏付け等の必修副課題を終了しているか否か。 3. 日々の練習にレッスン・ノートを活用しているか否か。 4. 2 年次後期に単位認定試験を実施する。			実技試験 100% 各学期の演奏発表を含む 全ての実技で評価する。
履修上の注意事項や学習上の助言など			
・事前に十分な練習をしてレッスンに臨むこと。 ・試験時はフォーマルスーツまたはそれに準ずる服装（白襟付き上衣、黒か紺の下衣）を着用。 ・シラバスの進度を常に認識し、必要な練習計画を立てること。 ・授業回数（2 年通年）の 5 分の 4 以上出席しないと失格となり、1 年間の再履修となる。			

科 目 名 幼児と音楽表現Ⅰ（１部１年前期）

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	【ガイダンス】 授業の目的、内容、予習復習、試験等について理解する。	授業概要の把握 練習計画
2 回	姿勢、手指の形、打鍵、読譜（拍子、音の長さ、ト音記号、 ヘ音記号の音等） バイエルNo.1～4	フォーム 打鍵法 拍子と拍節 音価の理解
3 回	〈ポジション1〉 5 指内の音階練習 No.5～8 写譜「おはようのうた」	フォーム 打鍵法 拍子と拍節 ポジションの理解
4 回	右手旋律左手伴奏（和音奏）フレーズ No.9～11 幼児とともに（1 曲目「大きな栗の木の下で」）	フレーズ感 レガート奏
5 回	並進行と反進行 左手伴奏（分散奏） No.12～14 写譜「さよならのうた」 幼児とともに	並進行と反進行の理解 音の響きを聴く
6 回	対位法的動き No.15～17 幼児とともに	2 つのメロディーを聴き 分ける力
7 回	〈ポジション2〉 ユニゾン タイ No.18～20 併用曲（1 曲目） 幼児とともに（2 曲目「おはようのうた」）	新しいポジションの理解 タイとスラーの違い
8 回	左右のメロディー No.21～23 併用曲 幼児とともに	2 つのメロディーを聴き 分ける力
9 回	短調 オクターブ記号 全音符～8 分音符 No.24～26 幼児とともに	短調の響きを感じる 8 分音符の理解
10 回	〈伴奏付け・主要 3 和音の理解〉付点音符 No.27～29 幼児とともに（3 曲目を選択） 伴奏付課題 ハ長調	主要 3 和音 付点の理解
11 回	6/8 拍子、3/8 拍子 強弱記号 メロディーと伴奏のバランス No.30～32 幼児とともに	ポジション移動 強弱 左右の音量バランス 6/8、3/8 拍子の理解
12 回	対位法的楽曲 転調 音域の拡大 フレーズ感 No.33～35 幼児とともにの仕上げ	2 つのメロディーを聴き 分ける力 転調 フレー ズ感 広い音域への対応
13 回	【前期のまとめ①】 〈幼児とともにの演習〉 同音のレガート No.36 前期の学習を技術面・音楽面から総合的に復習する。	同音のレガート奏 緊張感 演奏時の集中力
14 回	【前期のまとめ②】 クラス全員の前で演奏発表する。 次の課題曲 夏休み中の練習計画	緊張感 演奏時の集中力
試験	評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 2 年間の通年科目のため、単位認定試験は 2 年次後期に実施する。	

科 目 名 幼児と音楽表現Ⅰ（１部１年後期）

授 業 回 数 別 教 育 内 容		身につく資質・能力
1 回	【後期ガイダンス】 前期の復習 今後の計画 初見視奏 ハ長調音階	前期で学んだことの確認 練習計画 ハ長調音階奏
2 回	ト長調音階 調性 No. 37 ト長調の音階 幼児とともに(4 曲目「さよならのうた」)	ト長調音階奏 調性の意識
3 回	音と表現① 併用曲 半音「宇宙ゆうえい」 3 度の重音奏 No.38～40 伴奏付け課題 ト長調	イメージを膨らませる 3 度の重音奏 指の独立
4 回	ニ長調音階 右手重音奏 左手保持音 ニ長調の音階～No.42 幼児とともに 併用曲	ニ長調音階奏 右手重音奏 保持音 曲想の違い
5 回	音と表現② 併用曲 全音「ミステリー・ミュージック」 イ長調音階 イ長調の音階～No.43 幼児とともに(5 曲目)	場面を想定して演奏する イ長調音階奏 メロディーを歌わせる
6 回	3 拍子 装飾音符 腕の交差 同音指替え No.44～45 幼児とともに	装飾音 同音の指替え 左手伴奏 レジェーロ奏
7 回	音と表現③ グリッサンド奏とクラスター奏 臨時記号 半音階 左右の掛け合い音階 No.46～47 幼児とともに(6 曲目)	音域の違いによるイメージを感じる 臨時記号 半音階奏 レガート奏
8 回	ホ長調音階 右手旋律を歌わせる練習 ホ長調の音階～No.48 幼児とともに	ホ長調音階奏 転調による曲想の変化
9 回	全音符～16 分音符 No.49～50 幼児とともに(7 曲目) 併用曲(4 曲目)	各種音価の理解 1 6 分音符の速い動き
10 回	〈マーチの演習〉付点のリズム 付点 8 分音符 マーチ 併用曲	マーチらしさの理解 付点リズムの表現
11 回	3 連符 同音指替え 付点 8 分音符 保持音 No.51～52 幼児とともに マーチの暗譜仕上げ	3 連符の理解 付点リズムの表現
12 回	〈マーチ・幼児とともにの演習〉 重音のメロディー イ短調音階 No.53～イ短調の音階	重音のメロディー表現 同音の指替え 暗譜力 3 種類の短音階奏
13 回	イ短調旋律短音階 転調 6/8 拍子 抑揚感 No.54～55 技術面、音楽面から総合的に復習する。	左右の速い動き 転調による曲想の違い 抑揚感
14 回	【後期のまとめ】 クラス全員の前で演奏発表する。 次の課題曲 春休み中の練習計画	緊張感 演奏時の集中力
試験	評価の要点に基づき実施する。 演奏実技により学習成果を確認する。 2 年間の通年科目のため、単位認定試験は 2 年次後期に実施する。	